みどりの通信

第122号
令和5年4月発行

下北地域県民局 地域農林水産部 農業普及振興室
〒035-0073　青森県むつ市中央一丁目1-8
TEL：(直通)0175-22-2685 / FAX：0175-22-3212

はじめまして！

農業普及振興室長　若宮　英夫

普及室では、農業者の皆様の所得向上と地域農業の振興、そして農村の活性化等を図るため、現場の求める高度で多様なニーズを踏まえ、下北地域の特長を生かした普及指導活動を展開しています。

重点的な取組としては、昨年度に引き続き、新規就農者の栽培技術向上や販路拡大等による**「夏秋いちご」の産地力強化**、消費者の新しい生活様式に対応した**産直市「しもきたマルシェ」の販売力強化**に加え、本年度から新たに大豆の高収量生産技術の検証やスマート農業技術の活用等による**持続的な「水田農業」の構築**を図っていくこととしています。

昨年度はコロナ禍でもあり、直接農業者の皆様と接する普及指導活動が充分にできませんでしたが、活動方法を工夫しながら、普及指導員の高い専門力を発揮しつつ、技術指導はもとより、各種補助事業や制度資金の提案等も行い、関係機関・団体と一体となって活動して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

■新「ViC・ウーマン」の御紹介

坂本 愛さん（風間浦村）

風間浦漁協下風呂本所女性部長等として、**地域の環境保全**や**魚食の普及**活動、**異業種との連携**による地域活動で活躍。

また、自らが代表取締役を務める（有）畠山商店では、漁業用の木箱の加工・販売を行うなど、**県産木材の消費拡大**にも取り組んでいます。

■新「青年農業士」の御紹介

濱田 幸彦さん（東通村）

平成29年に夫婦で就農し、夏秋いちごやそば等を生産。翌30年から**農福連携**に取り組み、**地域の雇用拡大**に寄与。

また、東通村内の小学生等を対象に夏秋いちごの摘み取り体験を実施するなど、子どもの**農業に対する理解促進**にも貢献しています。

■いよいよ７年目、今年も一歩前へ！「しもきたマルシェ」

「生産者と消費者の交流の場づくり」と「地産地消の推進」を目的に、平成29年度から始まった産直イベント「しもきたマルシェ」も、今年で7年目を迎えます。

今年も、むつ市の**「ミルク工房ボン・サーブ」前広場**で、**5～10月の毎月第2日曜日に開催（8月のみ11日（金･祝））！**※

昨年好評だったイベントのほか、**新企画も用意**して皆さんの御来場をお待ちしています。

※開催日 → 5/14、 6/11、 7/9、 8/11、 9/10、 10/8

↑にぎわう「しもきたマルシェ」

■エースをねらえ！下北の「マメな農業」

近年の自然災害や国際情勢の変化などにより、**年々引き合いが強まっている国産大豆**。
大豆生産は今が絶好の機会ですが、**下北地域では、収穫量が不安定な状況**が続いています。
そこで普及室では、大豆の生産性向上と担い手の確保・育成を目的に、
「**下北の持続的水田農業構築事業**」を新たに立ち上げました。

①ツユクサなど防除が難しい**雑草に効果が高い除草剤**や、**ほ場の排水対策**について、効果を検証するため**実証ほを設置**して対策を検討
②オペレーターの高齢化や後継者不足に対応するため、**スマート農業機械を活用した作業の軽労化**を検討
③県内外の**先進地事例を調査**

をとおして、**下北地域の大豆づくりを応援**します。事業は、今年度からスタートします！

■今年度も“技“を極めよう！「夏秋いちごレベルアップ研修会」

普及室では、夏秋いちごの新規就農者等を対象に、今年度も「**夏秋いちごレベルアップ研修会**」を開催します。**現地研修**（6～11月）、**視察研修**（10月：北海道を予定）、**ミニ勉強会**（1～3月）を組合せ、栽培技術力の向上に向け総合的にサポートします。

また、時期ごとの栽培管理のポイント等をお知らせする情報紙「**しもきた夏秋いちご通信**」も随時発行します。こちらも栽培管理の参考に御活用ください。

↑現地研修で病害虫防除を学ぶ

■新しい農業情報サイト「農なび青森」がオープン！

本年3月27日、「アップルネット」に代わる農業情報サイト「**農なび青森**」が開設されました。

①**農業に携わっている方**には、農作物の生育や病害虫発生状況、補助事業、研修のお知らせなど**農業経営に役立つ情報を**、
②**これから農業を始めたい方**には、本県農業の概要や就農までの流れ、就農支援制度の紹介、更には先輩農業者へのインタビューなど**新規就農のヒントになる情報を発信**しています（「就農適性診断」もできます）。

イベント情報もありますので、ぜひブックマークを。

QRコードでアクセス→

■野鳥に注意！防ごう「高病原性鳥インフルエンザ」

国内で猛威を振るう「高病原性鳥インフルエンザ」。県内でも３例発生し、まだ予断を許さない状況です。**感染源の一つとされる野鳥**に対しては、次の点に留意してください。

①**餌付けは避けてください。**鳥同士が密集したり、人との距離が近づくことで感染拡大を招くおそれがあります。
②死亡した野鳥など**野生生物には、素手では触らない。**
③**野鳥が死亡しているのを発見した場合は、地域県民局や市町村役場に連絡。**
④**野鳥に近付き過ぎない**（**靴でフンを踏まないよう注意**し必要に応じて消毒）。
⑤不必要に**野鳥を追い立てたり、つかまえようとしない。**

■*STOP*！ 農作業事故 ― あせらず、急がず、慎重に ―

全国で、年間300人以上が農作業事故で亡くなっています。県内でも、過去10年間の死亡者数は**年平均は10人**にものぼり、このうち**約8割が65歳以上**の方です。

県では「**春の農作業安全運動**」を実施中です（令和5年4月1日～5月31日）。農作業安全のポイントを意識し、安全第一で農作業事故を防ぎましょう。

①**慣れた作業でも気を抜かない**で、安全を確認。
②作業の合間には必ず**十分な休憩を取る。**
③「自分は大丈夫」「事故は他人事」と**過信せず、無理のない作業をする。**
④**一人での作業は避け、家族に作業場所と帰宅時間を伝え、携帯電話を持つ。**
⑤家族や周りの人など、**地域全体で注意を呼びかけ合う。**
⑥万一の事故に備えて、**労災保険や農機具共済などの保険に加入**する。

■安全･安心な農産物を生産するため、農薬は正しく使いましょう。

農薬が適正に使用されないと、食品衛生法の残留基準値を超えて農薬が残留する可能性があります。その場合、**出荷した農作物は回収や廃棄の対象**となりますので、以下のポイントに十分注意して農薬を使用しましょう。

①農薬を使用する際は**ラベルをよく確認**し、**適用作物名、使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数**を必ず守る。【農薬登録情報提供システム】
→ https://pesticide.maff.go.jp/
②農薬散布時は隣接作物に飛散しないようにし、**散布後はタンク、ホースをしっかり洗浄する。**
③**水田の除草剤**は**散布後７日間は水を止め**、落水やかけ流しはやめる。
④使用後は**防除日誌に記帳**する。

■10月1日から「インボイス制度」が始まります。

インボイス（適格請求書）とは、売り手側が買い手に対して適用税率・消費税額を正確に伝えるために作成される請求書（又は納品書や領収書）のことを指します。

インボイスを発行できるのは、消費税課税事業者のみであるため、**免税事業者が発行できるようにするには、税務署に申請し、消費税の課税事業者となる必要**があります。

なお、消費者への直接販売、農協等を通じた委託販売、卸売市場等を通じて取引される農産物販売については、免税事業者のまま取引できる特例があります。

申請期限については、**令和5年9月30日まで延期**になりましたので、インボイスが必要になるかどうかは、それぞれの取引先と相談してください。

■「山の確認　山を愛する　あなたのマナー」

春の野山は空気が乾燥し、地面には落ち葉が堆積していることから、**山火事が発生し燃え広がりやすい環境**となっています。**山火事の主な発生原因は、たき火の不始末やタバコの投げ捨てなど人為的なもの**です。

山火事の多くは人災であり、私たち一人ひとりが気をつければ防ぐことができる災害です。山火事防止のために、皆様の御協力をお願いします。

下北農業普及振興室　職員紹介

農業普及振興室長　NEW

若宮 英夫

NEW は新たに赴任してきた職員です。

企画・経営班

総括主幹　落合 賢之

【担当】企画･経営班の総括、攻めの農林水産業、予算管理

主幹　伊藤 和彦

【担当】新規就農者、地域経営、指導農業士会

主査　臼田　裕

【担当】畜産、農業経営、食育、農福連携

主査　小林 健一

【担当】農業委員会関係、地域計画経営所得安定対策、災害

主査　内村 ゆき美

【担当】農山漁村女性リーダー、女性起業､しもきたマルシェ

技師　中村 彰宏　NEW

【担当】国庫補助事業、食品表示、鳥獣被害防止

農畜振興班

総括主幹　三浦 嘉浩

【担当】農畜振興班の総括、研修、みどりの食料システム戦略

主幹専門員　山内 俊範

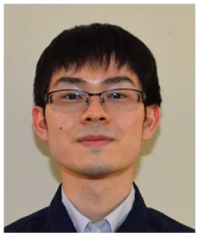
【担当】水稲･畑作の生産指導、下北の持続的水田農業構築事業

主幹　長谷川 夏子

【担当】野菜の生産指導、病害虫防除農薬適正使用

技師　對馬　慶

【担当】野菜･花きの生産指導、GAP土づくり、肥料取締法



技師　藤田 優作

【担当】野菜･花き･果樹の生産指導、冬の農業、スマート農業

技師　杉田 綾祐　NEW

【担当】水稲･畑作の生産指導、農作業安全、農業気象